

“湧水・清流保全都市宣言”のまち東久留米

環境フェスティバル開催にあたって

「東久留米市環境フェスティバル」は今回で 25 回目を迎えました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で全面中止といたしました。今年には集客型のイベントに代わり、参加団体の環境活動を動画やブックレットで情報発信するかたちで実施することといたしました。

今年、東久留米市は「湧水・清流保全都市宣言」から 10 年の節目となります。かつては川が汚れていた時期もありましたが、人々の努力により清らかさを取り戻し東京で唯一「平成の名水百選」に選ばれました。昨年、市では市制施行 50 周年を記念しプロモーション動画「東京別世界 東久留米」を制作しましたが、そこには川で子供たちが遊ぶ姿がいきいきと映し出されています。令和の時代もこの美しい清流を次世代に引き継いでいかなければなりません。

環境に関する問題は、生物多様性や地球温暖化、ごみ問題など多岐にわたります。引き続き、市民・事業者・行政が力を合わせ共に取り組む必要があります。本フェスティバルを通して、環境について今一度目を向けていただくとともに、今後も市の環境行政にご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

東久留米市長 並木 克巳

実行委員からの思い

新型コロナウイルスの蔓延により、良好な環境の保全維持の活動にも、制約が出ています。

昨年の環境フェスティバルは、残念ながら中止となりました。

しかし、環境を守る各地域でのボランティア活動の団体や個人の方々は、制約を受けながらも、活動を行っております。

東久留米の環境を守ろうとの取組んでいる活動の情報を発信すべきとの声が、実行委員からも上がり、今年度の開催は、従来の市役所での集合したイベント開催に代わり、インターネットとブックレットを組み合わせた環境活動の情報発信する形態で実施することになりました。

市民の皆様にも、多様化・複雑化する環境問題への関心や知識を高めて頂き、豊かな自然が残る市の環境保全に向けて、行動の輪を広げ、環境を守る活動に、ご協力いただければ幸いです。

第25回 東久留米市環境フェスティバル実行委員会

参加団体からの活動情報発信

- 1) ブックレットの配布: 参加33団体の紹介
- 2) ブックレットの情報を市ホームページに掲載・くるくるチャンネルにアップ
- 3) 活動の動画情報: 市のホームページで各団体2~3分動画(18団体)

アクセス方法は、裏表紙をご覧ください。

表紙デザインの学生からのメッセージ

第18回からポスター等のデザインを自由学園の学生が担当しています。

より多くの方に関心を持っていただくために学生の新しいセンスが役立てればと毎年続けてきました。今年も、こんな時だからこそ、東久留米市にある素晴らしい自然が様々なヒントを与えてくれることをイメージして作成しました。

少しでも多くの方がフェスティバルを通して元気になることを願っています。

学校法人自由学園 最高学部副学部長 神明久

デザイン: 藤田明日香・小林遼

文字デザイン: 服部昂



(最後のページに第18回~第23回のデザインが掲載されています)